

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公表番号】特表2016-505670(P2016-505670A)

【公表日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-546881(P2015-546881)

【国際特許分類】

C 09 K	19/42	(2006.01)
C 09 K	19/30	(2006.01)
C 09 K	19/12	(2006.01)
C 09 K	19/20	(2006.01)
C 09 K	19/16	(2006.01)
C 09 K	19/18	(2006.01)
C 09 K	19/14	(2006.01)
C 09 K	19/34	(2006.01)
C 09 K	19/32	(2006.01)
C 09 K	19/60	(2006.01)
G 02 F	1/13	(2006.01)
G 02 F	1/137	(2006.01)

【F I】

C 09 K	19/42	
C 09 K	19/30	
C 09 K	19/12	
C 09 K	19/20	
C 09 K	19/16	
C 09 K	19/18	
C 09 K	19/14	
C 09 K	19/34	
C 09 K	19/32	
C 09 K	19/60	A
C 09 K	19/60	C
C 09 K	19/60	Z
G 02 F	1/13	5 0 0
G 02 F	1/137	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

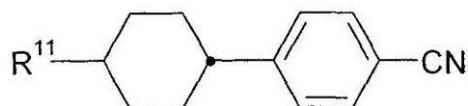
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I-1)

## 【化1】

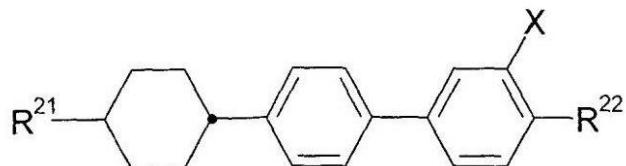


式(I-1)

で表される少なくとも1種の化合物、

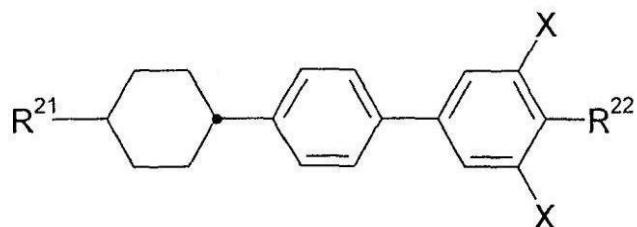
式(II-1-1)および/または(II-1-2)：

## 【化2】



式(II-1-1)

## 【化3】

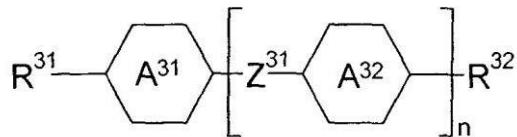


式(II-1-2)

で表される少なくとも1種の化合物、

式(III)

## 【化4】



式(III)、

で表される少なくとも1種の化合物、および

少なくとも3種の二色性色素を含み、式中、以下のもの：

R<sup>1-1</sup>はH、F、CN、1~10個のC原子を有するアルキルまたはアルコキシ基、ここで前記基における1または2以上のH原子はF、ClまたはCNによって置き換えられてもよく、

R<sup>2-1</sup>、R<sup>3-1</sup>、R<sup>3-2</sup>は、各出現において、同一または異なって、H、F、Cl、CN、NCS、R<sup>1</sup>-O-CO-、R<sup>1</sup>-CO-O-、1~10個のC原子を有する、アルキル、アルコキシもしくはチオアルコキシ基、または2~10個のC原子を有する、アル

ケニル、アルケニルオキシもしくはチオアルケニルオキシ基であり、ここで前記基における1または2以上のH原子は、F、ClまたはCNで置き換えられていてもよく、および前記基における1または2以上のCH<sub>2</sub>基は、O、S、-O-CO-または-CO-O-で置き換えられていてもよく、

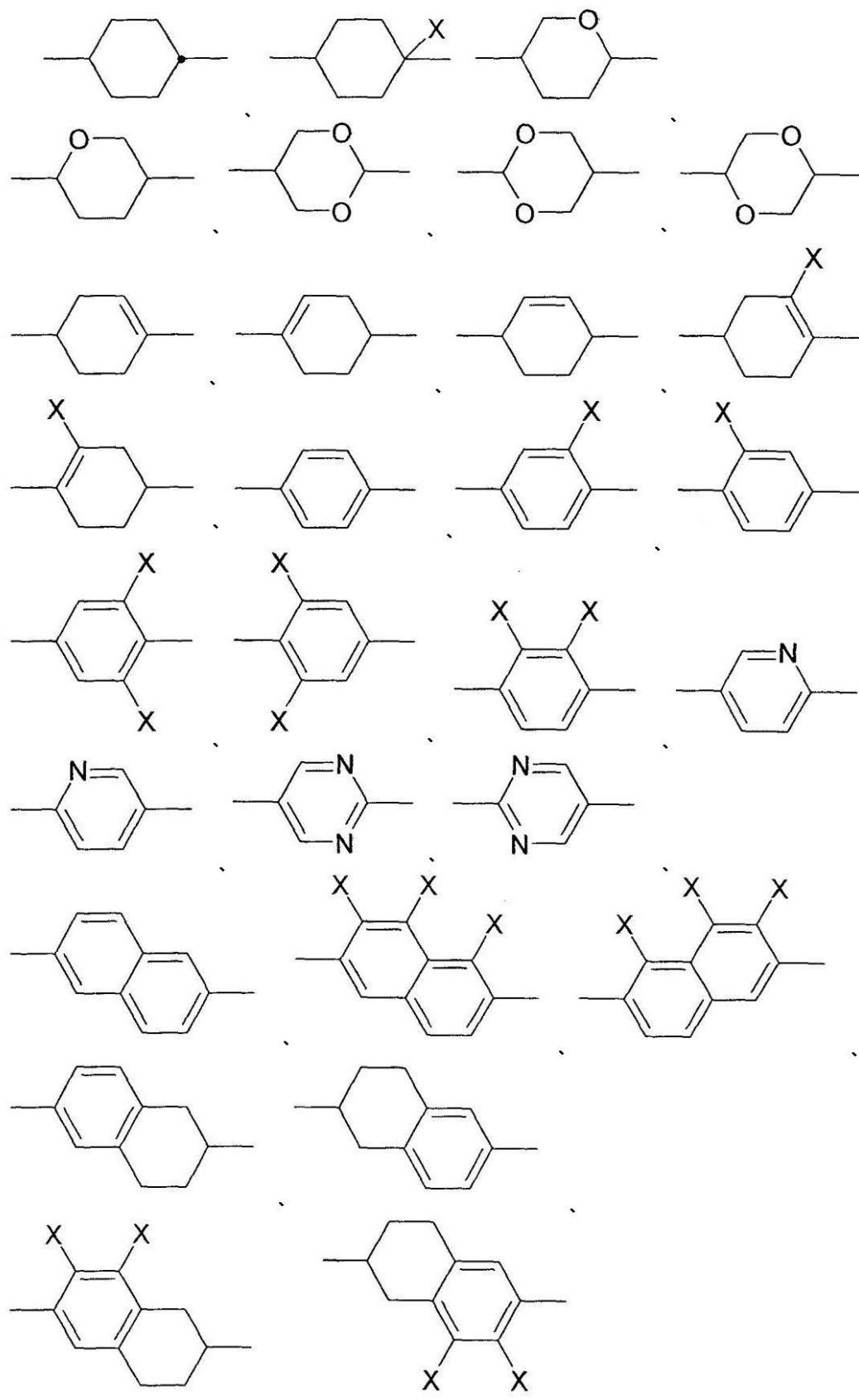
R<sup>1</sup>は、各出現において、同一または異なって、1~10個のC原子を有するアルキル基であり、ここで1または2以上のH原子は、FまたはClで置き換えられていてもよく、および1または2以上のCH<sub>2</sub>基は、OまたはSで置き換えられていてもよく、

R<sup>2</sup>は、Fであり、

Z<sup>3</sup>は、各出現において、同一または異なって、-CO-O-、-O-CO-、-CF<sub>2</sub>-、-CF<sub>2</sub>O-、-O-CF<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-、-CH=CH-、-CF=CF-、-CF=CH-、-CH=CF-、-CC-、-OCH<sub>2</sub>-、-CH<sub>2</sub>O-および単結合から選択され、および

A<sup>3</sup>およびA<sup>3</sup>は、各出現において、同一または異なって、

【化 5】



から選択され、

X は、各出現において、同一または異なって、F、Cl、CN または 1 ~ 10 個の C 原

子を有するアルキル、アルコキシまたはアルキルチオ基から選択され、ここで前記基における 1 または 2 以上の H 原子は、F または Cl で置き換えられていてもよく、および前記基における 1 または 2 以上の CH<sub>2</sub> 基は、O または S で置き換えられていてもよく、および

n は 3、4 または 5 である、  
が可変の基および添え字に適用され；および  
式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物が少なくとも 2 個のフッ素置換基をもち、  
透明点が 90 より高い、窓の構成要素のための液晶媒体。

#### 【請求項 2】

10 ~ 70 重量 % の式 (I - 1) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 3】

5 ~ 60 重量 % の式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 4】

式 (III) で表される化合物が少なくとも 6 重量 % の割合で存在することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 5】

15 ~ 45 重量 % の式 (III) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 6】

式 (I - 1) で表される化合物と式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物との割合の比が、6 : 1 ~ 1 : 5 であることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 7】

誘電異方性が 3 よりも大きいことを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 8】

式 (III) で表される化合物における添え字 n が 3 に等しいことを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 9】

3 種または 4 種以上の二色性色素を含み、そのうちの少なくとも 1 種が青色光を吸収し、そのうちの少なくとも 1 種は緑 ~ 黄色光を吸収し、およびそのうちの少なくとも 1 種が赤色光を吸収することを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 10】

二色性色素が 0.4 より大きい二色性比 R を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 11】

二色性色素が蛍光色素であることを特徴とする、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 12】

二色性色素が、アゾ化合物、アントラキノン類、メチン化合物、アゾメチン化合物、メロシアニン化合物、ナフトキノン類、テトラジン類、ペリレン類、テリレン類、クアテリレン類、高リレン類 (higher rylenes) およびピロメテン類から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

#### 【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の液晶媒体の製造方法であって、まず式 (I - 1) および (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) および (III) で表される化合物および任意にさらなる成分を、二色性色素なしで混合し、その後、二色性色素を添

加し、溶解することを特徴する、前記方法。

【請求項 1 4】

窓の構成要素における請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の液晶媒体の使用。

【請求項 1 5】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の液晶媒体をスイッチング層中に含有する、電気的にスイッチング可能な窓の構成要素。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 8】

本発明の好ましい態様によれば、ゲスト - ホスト型の L C デバイスは窓または同様の光透過開口の構成要素である。窓または開口は、好ましくは構造物中に位置する。しかしながら、それはまた、任意に望ましい他の閉じられた空間、例えば容器または乗り物内、の壁に設置することもできる。